

目次

<b>1. 学校の概要、目標及び計画</b> -----	<b>1</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育・人材養成の目標及び教育指導計画、経営方針、特色</li> <li>・校長名、所在地、連絡先等</li> <li>・学校の沿革、歴史</li> <li>・その他の諸活動に関する計画</li> </ul>	
<b>2. 学科の教育</b> -----	<b>5</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業認定に係る基本方針</li> <li>・入学者に関する受入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数</li> <li>・カリキュラム（科目配当表(科目編成・授業時数)、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画)</li> <li>・学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等</li> <li>・資格取得、検定試験合格等の実績</li> <li>・卒業者数、卒業後の進路（進学者数・主な進学先、就職者数）</li> </ul>	
<b>3. 教職員</b> -----	<b>7</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員数（職名別）</li> <li>・教職員の組織、教員の専門性</li> </ul>	
<b>4. キャリア教育・実践的職業教育</b> -----	<b>8</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育への取組状況</li> <li>・実習・実技等の取組状況</li> <li>・キャリア支援等への取組支援</li> </ul>	
<b>5. 様々な教育活動・教育環境</b> -----	<b>8</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事への取組状況</li> <li>・課外活動（部活動、サークル活動、ボランティア活動等）</li> </ul>	
<b>6. 学生の生活支援</b> -----	<b>9</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生支援への取組状況</li> <li>・こころとからだの健康支援</li> </ul>	
<b>7. 学生納付金・就学支援</b> -----	<b>10</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生納付金の取扱い（金額、納入時期等）</li> <li>・活用できる経済的支援措置の内容等（奨学金、授業料減免等の案内等）</li> </ul>	
<b>8. 学校の財務</b> -----	<b>13</b>
<b>9. 学校評価</b> -----	<b>13</b>
<b>10. 国際連携の状況</b> -----	<b>25</b>
<b>11. その他</b> -----	<b>25</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学則</li> <li>・学校運営の状況に関するその他の情報</li> </ul>	

# 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 教育情報の公表

## 1. 学校の概要、目標及び計画

### ●学校の教育・人材養成の目標及び教育指導計画、経営方針、特色

#### ①設置の目的

キリスト教精神による生命の尊厳と隣人愛に基づき人格を陶冶すると共に、介護福祉に必要な専門的知識、技術及び態度と愛の精神が統合された有為な職業人を育成して、社会の福祉に寄与することを目的とする。

#### ②人材養成の目的及び教育目標

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校では、介護福祉の知識・技術・価値・理念と、隣人愛の精神が統合された人間教育を行い、自分のことのように他者を考え「愛の実践」ができる介護福祉士を養成することを目的とします。そのために、以下の目標を掲げます。

##### 教育目標

- ・人間理解にもとづき、他者と全人格的な人間関係を深めることができる隣人愛に根差した態度が身につく。
- ・介護対象者の全体像をとらえ、介護の領域に必要な基礎的な知識を身につけ、科学的かつ生活に寄り添った個別ケアを展開することができる。
- ・自己を理解し、だれとでも発展的な人間関係を創造できるコミュニケーション力が身につく。
- ・常に地域や福祉に関心を持ち、介護福祉実践にかかわる問題として考えていくことができる。
- ・保健医療福祉チームの一員として、介護専門職者の役割を認識し、協働してその責務を果たすことができる。

#### ③教育指導計画

- ・隣人愛の精神を实践、追求するための人格形成に重要な科目が、「聖隷の理念と介護福祉教育」です。聖隷の实践は介護から始まったこととその積み重ねを知り、自校で学ぶ意義を考え、これから専門職として目指す働き方、生き方を描いていくための土壌を培います。
- ・キリスト教と福祉に関する科目を設けます。聖書の人間理解を学び、福祉の分野で働こうとしている人々が持つべき人権擁護の考え方、社会正義、個人の責任、自主性や協調性などを学びます。
- ・授業は専門学校の専任教員と共に大学・大学院の教員が担当します。介護福祉学科教員だけでなく、社会福祉学科の教員が、「社会の理解Ⅰ」を担当します。こども教育福祉学科教員が「人間関係とコミュニケーション」を担当します。同様に、国語表現基礎、情報処理基礎などの科目を設け、実践力のある介護福祉士を養成します。
- ・選択科目として、教養科目（社会学、法学、経済学、現代コミュニティ論、臨床心理学、レクリエーション概論）の6科目を配置しました。これは希望者が科目等履修により、大学の教養科目を履修できるようにするものです。学生にとっては学びの幅を広げ、大学への編入学の準備（情報収集）となります。

#### ④経営方針

超高齢化社会において、介護の質を向上させ豊かな高齢期を実現するためには、介護職員のリーダーの養成とともに、介護福祉士の量的な確保が必要とされています。こうした社会的ニーズに応え、介護福祉現場で即戦力となる知識と技術を備えた介護福祉士を2年間で養成し、社会に送り出していきます。本学社会福祉学部と一体となって介護福祉士の養成に取り組み、大学教員が授業を担当するほか、大学の充実した施設設備を共用します。さらに聖隷福祉事業団や近隣社会福祉法人による奨学金制度を設け、介護福祉士を目指す学生を支援します。

#### ⑤学校の特徴

大学レベルの教育	大学の充実した学修環境を共用し、専門学校と共に関係する日々新しい知識・技術を開拓している大学・大学院の教員が授業を行います。
多様な進路	学生の学ぶ意欲を育て、さらに学びを深めたい学生には大学編入学、その後の大学院進学といった将来の学びの場が開かれています。
豊富な就職先	聖隷学園で学んだ卒業生が、地域の福祉施設において介護実践に携わっていることから将来像を描き、安心して就職をめざすことができます。
充実した経済的サポート	静岡県内の介護福祉専門学校のなかで最も安い学費と2つの奨学金制度で経済的にサポートします。

>>>詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.seirei.ac.jp/carework/guide/>

#### ●校長名、所在地、連絡先等

##### ①校長名

野田 由佳里

##### ②所在地

〒433-8558

静岡県浜松市中央区三方原町3453

##### ③連絡先

聖隷クリストファー大学、聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 総務部

053-439-1400

[somu-office@seirei.ac.jp](mailto:somu-office@seirei.ac.jp)

#### ●学校の沿革、歴史

①設置認可年月 2016年3月30日

②開設年月日 2016年4月1日

>>>聖隷の歴史については以下のURLをご参照下さい。

<https://www.seirei.ac.jp/about/philosophy/history/>

●その他の諸活動に関する計画

①学校安全計画

月	行事	安全管理	安全教育	組織活動
4	入学式 オリエンテーション ガイダンス 新入生セミナー 新入生歓迎会 交流会	日常点検 自転車・バイク・自動車の通学安全確認 水質検査	生活安全講習 交通安全講習 (Web) 消費者教育講習 SNS 利用講習 薬物乱用防止教室 (1年次生) 交通安全指導	防災訓練・教育 (学生・教職員)
5	スポーツ大会 ピアノコンサート	日常点検 授業・演習用器具の点検 (生活支援技術Ⅰ)	実習前の安全指導	後援会総会
6	教育懇談会 介護実習Ⅰ (1年次生) 介護実習Ⅲ (2年次生)	日常点検 授業・演習用器具の点検 (生活支援技術Ⅰ) 水質検査	実習巡回指導 実習期間中の安全について諸注意 (介護総合演習)	教育懇談会 後援会役員会
7	定期試験	日常点検	夏期休業前の安全指導	
8	夏期休業 事例研究発表会 追試験 (再試験)	日常点検 授業・演習用器具の点検 (医療的ケアⅢ) 生徒用机・いすの点検整備 建物等自主検査		
9	ガイダンス リーダー研修会	日常点検 消防設備機器点検 消防用設備等自主点検	生活安全講習 ネット犯罪防止講習 著作権・動画作成研修 聖灯祭関連の安全講習	防災訓練 (教職員) 安否報告訓練 (学生・教職員)
10	スポーツ大会	日常点検 自転車・バイク・自動車の通学安全確認	交通安全指導	
11	聖灯祭・ホームカミングデー e-スポーツ大会	日常点検		後援会役員会
12	クリスマスツリー点 火祭 クリスマス礼拝 クリスマス祝会 冬期休業	日常点検 授業・演習用器具の点検 (医療的ケアⅢ)	冬期休業前の安全指導 交通安全講習	
1	定期試験	日常点検 授業・演習用器具の点検 (生活支援技術Ⅱ) 水質検査	交通安全講習 実習期間中の安全について諸注意 (介護総合演習)	
2	2年生を送る会 介護実習Ⅱ (1年生) 追・再試験	日常点検 防災用品点検・購入	実習巡回指導 春期休業前の安全指導	
3	卒業式 進就職パーティ 春期休業	日常点検 交通安全対策実施 消防設備機器点検 消防用設備等自主点検		教職員会 (防災訓練) 後援会役員会 次年度安全計画の作成

②学校保健計画

月	行事	計 画
4	入学式 オリエンテーション ガイダンス 新入生セミナー 新入生歓迎会 交流会（歓迎会）	健康診断（学生） 感染症予防（新型コロナウイルス感染症を含む）についての指導（通年） 1年生：U P I 調査(学生心理調査) 2年生：K 6 調査(心理調査) 心身の健康相談(学生希望者 随時) カウンセリング（学生希望者 随時）
5	スポーツ大会 ピアノコンサート	健康診断（教職員） 健康診断事後指導（学生） ・結果説明会 ・個別指導、面談 ・有所見者受診勧奨・ワクチン接種勧奨 治療中の疾患がある学生に対する面接 U P I 面接(学生) K 6 調査面接（学生）
6	教育懇談会 介護実習Ⅰ（1年次生） 介護実習Ⅲ（2年次生）	特定保健指導面談(教職員)
7	定期試験	ストレスチェック(教職員)
8	夏期休業 事例研究発表会 追試験（再試験）	
9	ガイダンス リーダー研修会	健康診断事後指導(学生) ・有所見者受診確認 ・ワクチン接種確認
10	スポーツ大会	聖灯祭前の衛生管理指導 インフルエンザ予防接種（学内接種）希望者 ・ワクチン接種勧奨 ・集団接種（希望者のみ）
11	聖灯祭・ホームカミングデー e-スポーツ大会	ストレスチェック結果 高ストレス者への産業医面接(教職員希望者)
12	クリスマスツリー点火祭 クリスマス礼拝 クリスマス祝会 冬期休業	インフルエンザ予防活動（流行期） ・罹患状況把握 ・予防啓発(注意喚起) 産業医による職場巡視
1	定期試験	
2	2年生を送る会 介護実習Ⅱ（1年生） 追試験（再試験）	
3	卒業式 進就職パーティ 春期休業	次年度保健計画の作成

## 2. 学科の教育

### ●卒業認定に係る基本方針

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいて、介護福祉の知識・技術・価値・理念と隣人愛の精神が統合された人間教育を行い、自分のことのように他者を考え「愛の実践」ができる介護福祉士を養成することを教育目的としています。

卒業においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、卒業に必要な所定の単位数を修得した者に対し卒業を認定し、専門士の称号を付与します。

1. 人間理解にもとづき、他者と全人格的な人間関係を深めることができる隣人愛に根差した態度が身についている。
2. 介護対象者の全体像をとらえ、介護の領域に必要な基礎的な知識を身に付け、科学的かつ生活に寄り添った個別ケアを展開することができる。
3. 自己を理解し、だれとでも発展的な人間関係を創造できるコミュニケーション力が身についている。
4. 常に地域や福祉に関心を持ち、介護福祉実践にかかわる問題として考えていくことができる。
5. 保健医療福祉チームの一員として、介護専門職者の役割を認識し、協働してその責務を果たすことができる。

### ●入学者に関する受入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数

#### ①入学者に関する受入れ方針

- ・人が好きで、豊かな感性をもつ人
- ・他者への気遣いや心配りができ、社会的行動が身についている人
- ・他者の意見を素直に聴き、自分の意見を言える人
- ・他者と共同して課題に取り組む誠実さや協調性をもつ人

#### ②入学者数、収容定員、在学学生数（2024年5月1日現在）

学科名	修業年限	入学定員	入学者数	収容定員	在学学生数
介護福祉学科	2年	40	12	80	31

※編入学制度はありません。

※社会人の継続教育は実施していません。

### ●カリキュラム（科目配当表（科目編成・授業時数）、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画）

#### ①科目配当表

学則7～8頁の教育課程表をご参照下さい。

[https://www.seirei.ac.jp/carework/media/20240101gakusoku\\_senmon.pdf](https://www.seirei.ac.jp/carework/media/20240101gakusoku_senmon.pdf)

#### ②時間割

下記URLをご参照ください（専門学校TOPページ→学校紹介→シラバス・時間割）

<https://www.seirei.ac.jp/carework/guide/syllabus/>

#### ③授業方法及び内容、年間の授業計画

下記URLをご参照ください（専門学校TOPページ→学校紹介→シラバス・時間割）

<https://www.seirei.ac.jp/carework/guide/syllabus/>

●進級・卒業の要件等（成績評価基準、卒業・修了の認定基準等）

①成績評価

授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。但し、平素の成績またはレポートの評価をもって試験に代えることができる。授業科目の評価はS、A、B、C、Dをもって表し、C以上を合格とし、Dを不合格とする。

②卒業認定

授業科目の成績評価に基づいて、校長は、卒業及び課程の修了の認定を行う。  
卒業要件に必要な授業時数、単位数は以下の通りである。

	必要授業時数	必要単位数
必修科目	1935 時間	94 単位
選択科目	0 時間	0 単位
自由科目	0 時間	0 単位

③取得可能な称号

専門士（教育・社会福祉専門課程）

●学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等  
介護福祉士国家試験受験資格

●資格取得、検定試験合格等の実績

資格	受験者数	合格者数	合格率
介護福祉士	17 名	17 名	100%

●卒業者数、卒業後の進路（進学者数・主な進学先、就職者数）

卒業生数	17 名	内訳		静岡県内	静岡県外
		介護福祉士	14 名		
就職者数	14 名			14 名	0 名
進学者数	2 名				
その他	1 名				

### 3. 教職員

#### ●教職員数（職名別）

	人数	内訳	
		男性	女性
校長(兼任)	1名		1名
専任教員	3名	1名	2名
兼務教員	17名	11名	6名
非常勤教員	4名	1名	3名
専任職員	1名		1名

#### ●教職員の組織、教員の専門性

##### ①各教員の担当科目

担当科目は下記 URL (PDF) のシラバスをご参照ください（専門学校 TOP ページ→在学生の方→シラバス・時間割）。

<https://www.seirei.ac.jp/carework/guide/syllabus/>

##### ②校務分掌組織等

校長	野田由佳里（大学社会福祉学部教授を兼任）
教務主任	高山暢子
専任教員	佐野仁美、西藤宏之

##### ③教員が当該教育を担当するにあたっての専門性に関する情報（職務上の実績等）等



のだ ゆかり  
校長 野田 由佳里

①最終学歴：聖隷クリストファー大学大学院保健科学研究科博士後期課程  
②専門領域：高齢者福祉・介護福祉  
③メッセージ：介護福祉士は、臨床家でありながら生活者の意識をもつ、生活場面で人権擁護をする仕事です。いのちと暮らしを守る福祉専門職者をめざして、一緒に学んでみませんか。



たかやま ようこ  
教務主任 高山 暢子

①最終学歴：浜松市立看護専門学校  
②専門領域：老年看護領域  
③メッセージ：老年看護領域での経験を生かし、介護福祉専門学校では学生の皆さんと共に歩み一緒に学びを深め、教育に携われるよう努力していきます。よろしくお願いいたします。



さの hitomi  
佐野 仁美 教員

①最終学歴：聖隷クリストファー大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程  
②専門領域：介護福祉  
③メッセージ：聖隷の精神のもと、お一人お一人との関わりを大切にしながら、慣れ親しんだ母校で学生の皆さんと一緒に学び続けていきたいと思っております。



にしんじ ひろゆき  
西藤 宏之 教員

①最終学歴：聖隷介護福祉専門学校  
②専門領域：介護福祉  
③メッセージ：母校の教育に携わることができ、やりがいと喜びを感じています。介護教員歴20年以上の経験を活かして、学生の目標達成のために尽力したいと考えています。よろしくお願いいたします。



#### 4. キャリア教育・実践的職業教育

##### ●キャリア教育への取組状況

科目「聖隷の理念と介護福祉教育」を必修とし、介護福祉に関する多くの法人のトップの方々の生の声を聴き、これからの介護福祉運営のビジョンと本校への期待をしっかりと受け止め、学修の動機付けを図っています。同時に組織体のあり方、対人関係のあり方、リーダーとなった場合の人材育成のあり方について学びます。

##### ●実習・実技等の取組状況

入学後 2 ヶ月で介護老人福祉施設、介護老人保健施設、障害者支援施設、医療型障害児入所施設にて 2 週間の実習を行う「介護実習 I」を設けるなど、実習を通して学びを深める取組を進めています。また、「生活支援技術基礎 I」において尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識を身に付けたりすることができるようにしています。

##### ●キャリア支援等の取組状況

大学と共通のキャリア支援センターが支援しています。社会人になるための基礎講座や、履歴書の書き方・面接の受け方講座等、様々な講座を通じて「介護福祉士専門職」として働く準備のための就職支援プログラムを用意しています。また、就職相談、模擬面接、履歴書・エントリーシート等応募書類の添削、小論文の添削を個別にサポートしています。

##### キャリア支援プログラム

学年	行事名	内容
1	進路ガイダンス	就職活動スケジュールや支援プログラムの紹介など年次に合わせた内容でガイダンスを行います。
	社会人マナー講座	電話やメール、文書マナー、敬語の使い方など、ビジネスマナー対策講座です。
	社会人になるための基礎講座	「働く」こと、社会人に求められる力、ストレス対策（オンとオフ）などの社会人になるための準備講座です。
	スーツ着こなし講座 メイクアップ講座	実習前に基本的なスーツ着こなしとメイクアップ法を学びます。
	履歴書の書き方、面接の受け方講座	履歴書作成や面接試験において、必要な自己分析やマナーについて学ぶ採用試験対策講座です。
	卒業生による仕事報告会	実際に福祉施設の現場で働いている先輩をお迎えし、仕事の紹介、やりがい、どのように就職を決定したのか、苦労したこと、頑張ったこと、学生時代に考えておくこと、取り組んでおくことなどについてうかがいます。
就職説明会	施設の採用担当者をお迎えし、お話をうかがい、就職先を選択する機会とします。	
2	社会人としての心構え	社会人になること、職場でのコミュニケーション、ビジネスマナー基礎などを学びます。

#### 5. 様々な教育活動・教育環境

##### ●学校行事への取組状況

年間行事予定は以下の URL をご参照ください。

<https://www.seirei.ac.jp/carework/campus/schedule/>

また、実施した行事については適宜ブログにて報告しています。

<https://blg.seirei.ac.jp/carework/>

##### ●課外活動（部活動、サークル活動、ボランティア活動等）

課外活動は聖隷クリストファー大学と共同で行っています。

>>>詳しい紹介は 聖隷クリストファー大学 サークル・同好会 のページをご覧ください。

<https://www.seirei.ac.jp/campuslife/extracurricular/details/>

## 6. 学生の生活支援

### ●学生支援への取組状況

聖隷クリストファー大学各センターが共同で支援しています。

事項	内容		
健康に関すること	ケガをしたとき、気分が悪いとき、心身の健康のことで相談したいときは、健康管理センターを利用してください。		
カウンセリング	学生相談室を開設しています。カウンセリングを受けたい方は学生相談室に申し出るか、アドバイザーや健康管理センター職員を通じて利用してください。		
キリスト教に関すること	キリスト教センターでは、自分の生き方について迷っている方の相談に乗り、また、キリスト教に関わること全般について、相談を受け、情報提供をしています。		
	主に取り扱う事項	事務窓口と取扱時間	場所
教務関係 (学修に関する こと)	授業、履修、実習、試験、成績、FD(授業評価等) 国家試験手続き(願書、受験手続き) その他学習に関すること全般	教務事務センター 平日:9:00~18:30 土曜:9:00~17:00	1号館 1階 スチュー デント プラ ザ
学生生活	学籍異動(休学・復学等)に関すること 学割・各種証明書の発行 奨学金、アルバイト、経済的な問題 施設使用、課外活動(クラブ・サークル、ボランティアなど) 通学、交通事故、傷害・賠償保険 下宿・アパート、防犯及び各種トラブル 障がいのある学生からの相談 その他学生生活に関すること全般	学生サービスセンター 平日:9:00~18:30 土曜:9:00~17:00  ボランティアセンター 火・木曜日 11:00~18:00	
進路(就職・進学)	就職・進学に関する相談、模擬面接、履歴書添削(卒業生を含む)、就職支援プログラム、病院・施設等の採用情報に関すること、国家試験対策講座・模擬試験に関すること 同窓会に関すること	キャリア支援センター 平日:9:00~18:30 土曜:9:00~17:00	
国際教育・ 国際交流	海外研修・実習、海外留学、海外ボランティア、海外渡航手続き、その他海外での活動に関する支援、海外の協定校との国際交流活動推進、国際交流イベントの案内及び参加支援	グローバル教育推進センター 平日:9:00~18:30 土曜:9:00~17:00	
コンピュータ・ 情報化	コンピュータ・ソフトウェアに関する情報の提供と質問への対応 コンピュータ教室・演習室その他学内のパソコンのトラブル対応 情報関係オリエンテーション・講習会の実施 Wi-Fi接続に関すること	ICTセンター 平日:9:00~18:30 土曜:9:00~17:00	
学習支援	基礎的な学習方法のほか、学修上困っている問題の解決に向けての支援	学習支援室 利用時間はHPに掲載(※)。	
学費ほか	授業料の延納・分納相談 施設・設備に関すること 障がいのある学生からの相談	大学総務部 平日:9:00~17:30 土曜:9:00~17:00	
入試について	入試や受験生向けの広報に関すること(家族や知人で入学を希望者がいる、パンフレットや募集要項希望など)	入試・広報センター 平日:9:00~17:30	

※<https://www.seirei.ac.jp/for-students/center/gakusyuushienrm/>

## ●こころとからだの健康支援

### 1) からだの健康 (健康管理センター)

健康上の様々な問題や心配ごとの解決のための支援を行います。

[主な業務]

- ・健康診断 …………… 「学校保健安全法」に基づき毎年4月上旬に健康診断を行います。
- ・応急処置 …………… 学内での急病やケガに対しての応急手当を行います。体調が悪いときは休養室で休むこともできます。また、状態によっては外部の医療機関に紹介するなど適切に対応します。
- ・健康相談……………健康上の悩み、不安、気になることについて看護師の職員が相談に応じます。開室時間内ならいつでも対応します。
- ・健康教育 …………… 保健医療福祉及び教育・保育を学ぶ学生のみなさんに感染症予防のための知識の啓発を目的として学校医によるB型肝炎予防、結核予防についての健康教育を行っています。
- ・その他……………身長計・体重計・血圧計を設置しています。

### 2) こころの健康 (学生相談室)

#### ○相談窓口

大学生活を送る中で「どこへ相談したらよいか分からない」、「誰に相談したらよいか分からない」、「誰かに話を聞いてほしい」、「カウンセラーに相談したい」というようなことが起こったときは、学生相談室にカウンセラー等がいますので、問題をひとりで抱え込まず、相談室の戸をたたいてください。

[相談内容] 人間関係について (友人、恋愛、家族のことなど)

自分について (自分を変えたい、人と違っているみたいだ、自分を知りたいなど)  
精神的なもの (イライラ、緊張、ストレス、不安、やる気がおきかないなど)  
身体的なもの (眠れない、食べられない、食べすぎてしまうなど)

#### ○カウンセラーによるカウンセリング

[利用時間] 月・火・水・金 10:00~17:00 ※長期休業期間は変更する場合があります。

[カウンセリング予約方法] 5号館1階の学生相談室窓口で随時受け付けています。

メールでの予約もできます。

学生相談室のホームページに利用可能日と時間を掲載しています。

## 7. 学生納付金・就学支援

### ●学生納付金の取扱い (金額、納入時期等)

#### 授業料、入学金その他の費用 (2024年度)

単位: 円

学部・学科名	授業料 (年間)	入学金	合計 (初年度納付金)
介護福祉学科	780,000	200,000	980,000

※施設設備費、実習費は、授業料に含まれています。

#### 入学検定料

学部・学科名	入学検定料
介護福祉学科	20,000円

●活用できる経済的支援措置の内容等（奨学金、授業料減免等の案内等）

(1) 菅野・太田・長谷川奨学金（貸与）…………… 募集時期：4月、9月

応募資格	将来、将来外を問わず、広く保健医療福祉及び教育・保育の分野において社会に貢献する志を有する者
貸与月額	53,000円（無利息）

(2) 聖隷クリストファー大学同窓会・後援会奨学金（貸与）…………… 募集時期：4月

応募資格	卒業後、保健医療福祉及び教育・保育の専門職として社会に貢献する志を有する誠実な学生のうち経済的理由により大学各学部の2年次、3年次、4年次および専門学校の2年次に在学する学生でアルバイト等をしなければ修学が困難な者
貸与月額	40,000円（貸与期間最長1年、無利息）

(3) K.M.奨学金（貸与）…………… 募集時期：4月

応募資格	卒業後、国内外を問わず広く保健医療福祉及び教育・保育の専門職者として社会に貢献する志を有する学業成績、人物ともに信頼のおける誠実な学生のうち大学各学部2年次、3年次、4年次および専門学校2年次に在籍する学生
貸与月額	50,000円（貸与期間最長1年、無利息）

(4) 日本学生支援機構

①第一種奨学金（貸与）…………… 募集時期：4月

応募資格	特に優れ、経済的理由により著しく修学困難な者
貸与月額	自宅通学者 20,000円・30,000円・40,000円・53,000円（無利息） 自宅外通学者 20,000円・30,000円・40,000円・50,000円・60,000円（無利息）

②第二種奨学金（貸与）…………… 募集時期：4月

応募資格	第一種より緩やかな基準
貸与月額	20,000円～120,000円から1万円単位で選択（有利息）

③給付奨学金（給付）…………… 募集時期：4月、9月

応募資格	家計の経済状況、学業成績、学修意欲による
貸与月額	経済状況等による

【日本学生支援機構の奨学金に関するQ&A】

- 申し込めば全員採用されますか？  
→採用条件を満たさない場合は採用されません。
- 他の奨学金と併用できますか？  
→奨学金によっては併用できないものがありますので、それぞれ確認してください。
- 採用後に金額変更、取り消しなどはできますか？  
→できます。学生サービスセンター窓口申し出てください。
- 年度途中で申し込みはできますか？  
→緊急事態（家計支持者の死亡や失業）や災害等で家計が急変し、証明書があれば申請できます。
- 在学中に奨学金受給を辞退した場合、返還はどうなりますか？  
→在学猶予制度を申請すれば、卒業まで返還は猶予されます。
- 第一種と第二種および給付を同時に申し込むことはできますか？  
→併用基準を満たしていればできます。
- 四親等以内・知人に保証人のあてがありません。  
→機関保証制度を選択すれば応募できます。機関保証の場合は、保証金を引いた月額が月々入金されます。ただし、採用後、保証人が見つかっていても人的保証に変更はできません。
- 学年が変わる時に手続きは必要ですか？  
→毎年自分で継続（あるいは辞退）届を入力することが必要です。適格認定により廃止となる場合もあります。

(5) 聖隷福祉事業団奨学金（介護福祉士養成校）

①一般奨学金…………… 募集時期：随時

応募資格	卒業後、聖隷福祉事業団各施設のいずれかに介護福祉士として勤務すること
貸与月額	月額 30,000 円（貸与期間最長 2 年）

②特別奨学金…………… 募集時期：随時

応募資格	卒業後、聖隷福祉事業団各施設のいずれかに介護福祉士として勤務すること
貸与月額	月額 30,000 円または 50,000 円（貸与期間最長 2 年）※返還免除制度あり

【聖隷福祉事業団奨学金（介護福祉士養成校）に関する Q & A】

○奨学金に応募する場合、就職先はどうなりますか？

→卒業後、聖隷福祉事業団各施設に必ず勤務することが条件になります。

○2 年次生になってから申し込みはできますか？

→できます。

○奨学金の振込銀行はどこでもよいですか？

→遠州信用金庫中川支店の口座と指定がありますので、口座がない場合は開設していただきます。

○学年が変わる時に手続きは必要ですか。

→毎年、聖隷福祉事業団法人本部人事企画部に成績証明書を提出することが義務付けられています。

(6) クリストファー介護福祉士奨学金…………… 募集時期：随時

応募資格	卒業後、会員施設のいずれかに介護福祉士として勤務すること ※会員法人 一穂会（西山病院グループ）、小羊学園、三幸会、慈悲庵、十字の園、白梅会、七恵会、日本老人福祉財団、八生会、ひかりの園、牧ノ原やまばと学園、和恵会
貸与月額	月額 30,000 円または 50,000 円（貸与期間最長 2 年）※返還免除制度あり

(7) 天竜厚生会介護福祉士奨学金…………… 募集時期：随時

応募資格	卒業後、天竜厚生会に介護福祉士として勤務すること
貸与月額	月額 30,000 円または 50,000 円 ※返還免除制度あり

(8) あしなが育英会奨学金（貸与）…………… 募集時期：4 月～5 月

応募資格	保護者等が病気もしくは自死（自殺）や災害（除、交通事故）等で死亡したり、著しい障害で、経済的な援助を必要としている 25 才までの学生
貸与月額	一般 40,000 円、特別 50,000 円

(9) 交通遺児育英会奨学金（貸与）…………… 募集時期：10 月

応募資格	保護者等が道路における交通事故で死亡したり、著しい後遺障害で働けないため、経済的に修学が困難な 25 才までの学生
貸与月額	40,000 円、50,000 円、60,000 円から選択

(10) ニッセイ聖隷健康福祉財団奨学金（給付）…………… 募集時期：4 月

応募資格	介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士として、卒業後高齢者福祉施設（有料老人ホーム・介護老人福祉施設・介護老人健康施設・健康増進センター等）に勤務を希望する者
貸与月額	20,000 円（期間：介護福祉士 2 年間、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 3 年間）

(11) 静岡県介護福祉士修学資金（貸与）…………… 募集時期：4 月

応募資格	卒業後、静岡県内の社会福祉施設等で 5 年以上介護福祉士の業務に従事しようとする者
貸与月額	50,000 円に加え、1 年次生には入学準備金 20 万円が、卒業時に就職準備金 20 万円が貸与されます ※返還免除制度あり

## 地方自治体の奨学金

### < 特定資格の養成施設在学者対象 >

上記で紹介した以外にも、都道府県によっては、介護福祉士の養成施設に在学する学生を対象とした奨学金制度を有する場合があります。この奨学金は、卒業後、その都道府県内の施設で一定期間勤務することが条件になります。詳細は学生サービスセンターにお問い合わせください。

### < 出身地の学生対象 >

都道府県や市町村の中には、「出身地の学生」を対象にした奨学金制度を有するところがあります。各地方自治体の教育委員会が窓口になることが多く、自治体広報誌を通じて募集されます。直接、自治体にお問い合わせください。

## 授業料等の延納・分納制度

特別の事情により期日までに学費を納付できないときは、分納や納入期限の延長を申請することができます。申請については、納入期限の遅くとも1ヵ月前までに大学総務部に相談してください。

## 8. 学校の財務

聖隷学園として、以下の URL にて財務情報を公表しています。

<https://www.seirei.ac.jp/gakuen/financial/comparison>

## 9. 学校評価

### < 2023 年度教育活動等の学校評価 >

#### 1 入学者を確保するための学生募集活動（2024年度入学者目標数40名）

本校の特長と介護の魅力・やりがい・将来性・処遇改善の状況、卒業生の活躍などをホームページ、募集行事を通して伝えていきます。SNSやダイレクトメールによる情報発信も継続・強化させることで、オープンキャンパスの参加者増、入学者増を図ります。

##### ① 本校の特長・魅力を高校生・保護者・高校教員にわかりやすく情報発信する。

本校の特長である、①大学レベルの教育、②充実した国家試験対策と高い合格率、③きめ細やかな学生支援、④興味・関心・適性に応じた丁寧な就職・進学支援、⑤経済的なサポート体制の5点を中心にパンフレットやホームページ、SNSにより丁寧に継続して伝えていきます。

評価：○：概ね目標通りできた。

パンフレットのリニューアルにあたり、それぞれの特長についてより分かりやすく伝える構成に改めたほか、『活躍する卒業生』として2名の卒業生の活躍と介護の魅力について紹介するページを制作し、ホームページにも展開した。

##### ② オープンキャンパスの参加者を増やし、確実に出願・入学に繋げる。

学校ホームページ、受験生情報サイトの充実、定期的なダイレクトメールの発送により、オープンキャンパス等の募集行事への参加者増を図ります。また、その後の出願まで繋がるようにサンクスレター等のフォローを行います。

評価：△：十分に達成できていない・次年度の課題である。

オープンキャンパスの参加者数は39名（のべ人数）と前年を下回った（-2名）。オープンキャンパスではプログラム後半の懇談会を丁寧に行い、反応者へのダイレクトメールも定期的に送付したものの、出願に十分繋がらなかった。今年度12名が入学する。

##### ③ 卒業生の活躍をホームページや募集行事、高校訪問時において紹介する。

地域で活躍している卒業生をホームページ、SNSで動画も用いながら紹介するほか、オープンキャンパスでの卒業生講話も継続することで、介護の魅力・やりがいを伝えていきます。動画等のコンテンツは重点校への訪問時にも活用します。

評価：△：十分に達成できていない・次年度の課題である。  
Instagramからの動画発信など継続はしているが、発信量が十分ではなく、力強い発信とも言えない。『活躍する卒業生』の動画をホームページで紹介した。来年度に向け、施設および卒業生への依頼、取材計画の作成を行うなど、動画も含めた制作準備を整えた。

④ 奨学金支援法人与連携した募集広報活動を強化する。

奨学金の支援法人の協力を得ながら、2022年度より「福祉のお仕事体験」を復活させています。参加した高校生には、本校への出願と当該施設の奨学金採用にスムーズに進めるようにサポートを行います。

評価：△：十分に達成できていない・次年度の課題である。  
入試・広報センターとキャリア支援センターが連携し、奨学金希望者へのサポートを丁寧に行った。情報発信やわかりやすい資料などを作成しているが、奨学金の希望は外国人留学生に多く、日本人の高校生は入学時点での奨学金を希望しない傾向である。2023年度入学予定者のうち、外国人留学生3名を含む4名が採用された。

⑤ 外国人留学生、日本語学校への募集広報活動を継続する。

奨学金の支援法人の協力を得ながら、2022年度より「福祉のお仕事体験」を復活させています。参加した高校生には、本校への出願と当該施設の奨学金採用にスムーズに進めるようにサポートを行います。

評価：○：概ね目標通りできた。  
実績のある日本語学校に加え、新たな学校への訪問も行った。また留学生向けのオープンキャンパスを8月に別途開催し、このうち2名が入学した。豊橋市内の日本語学校へは、現地で奨学生を採用し、就職までつなげる制度の提案を行い、双方で検討を進めている。

## 2 知識や技術の深い理解とともに、人間力と実践力を涵養する教育の徹底

(1) 満足度の高い授業展開を図ります。

- ① 学生が苦手意識のある科目については授業内容等を見直し、授業の内容及び方法の改善を図ります。
- ② 主体的学修（アクティブラーニング）を促す授業展開を推進します。

評価：○：概ね目標通りできた。  
留学生や、学修進度が遅れている学生に対して、個別対応など丁寧な学修支援を行った。

(2) 学力評価試験や模擬試験を有効的に使い、介護福祉士国家試験に全員が合格するように教育・試験対策を強化します。

- ① 特別な支援を必要とする学生や外国人留学生を中心に、グループ学習や個別学習を強化します。
- ② 国家試験対策委員と専門学校教員が中心となり、学生がお互いに助け合いながら国家試験の勉強に取り組めるように支援を行います。

評価：○：概ね目標通りできた。  
社会福祉学科と共同して計画的に進めた。

## 3 学生支援の充実

(1) 就職・キャリア支援

① 奨学金支援法人との協力

将来の就職先につながる奨学金支援法人の採用担当者や就職した卒業生から、当該法人の運営や介護福祉士の役割・働きなどを説明いただく機会を継続して設けます。さらに当該法人の運営理念等の理解をより深められるよう一覧化することで、就職に繋がるよう支援していきます。

評価：○：概ね目標通りできた。  
就職支援プログラムを通し、奨学金支援法人についてお話を伺う機会を設けている。現在内定している15名のうち、14名が奨学金支援法人へ就職する予定となっている（うち奨学生は7名）。

## ② 編入学

介護福祉専門学校卒業後に、福祉分野のより高い専門性と知識を修得することを希望する学生に対し、学園内推薦編入学制度の利用を促し、学修を本学で継続できるよう支援していきます。

評価：○：概ね目標通りできた。  
進学者は当初3名を予定していたが、最終的には2名となり、進路の再検討で1名は就職することとなった。

## ③ 卒業生支援

情報発信ツール（広報誌クリストファー、ホームページ等）を使って、教員が行っている勉強会などの案内を発信していきます。また、ホームカミングデーをはじめ卒業生の来校機会を増やし、卒業生同士の情報交換のほか、在学生との交流も積極的に支援していきます。外国人留学生の卒業後支援についても検討します。

評価：○：概ね目標通りできた。  
ホームページや冊子等で情報発信を継続した。ホームカミングデー参加者が昨年度の2名から7名に増加した。外国人留学生については、就職した法人へのフォローを通して情報を得ている。

## (2) 学生生活

建学の精神「生命の尊厳と隣人愛」を具現化した、学生支援を深め、だれもがその人らしい学生生活が送れるように支援します。

- ① 日本人学生と外国人留学生が共に学びあい、育ちあうように、教育や学生支援を行います。
- ② 人間力や組織運営力の涵養を図るために行われる、専門学校独自の行事の見直しを強化し学生生活の充実を図ります。
- ③ 交通事故等の発生がないように、各セメスターのガイダンス時等で学生に呼びかけをします。

評価：△：十分に達成できていない・次年度の課題である。  
進路再検討の学生が3名退学し、学生の心境変化を把握が不十分であったことが反省点として挙げられる。また保証人との連携についても2名の学生支援において（2年生1名、1年生1名）不十分であった。学修進捗判定基準を制定するなど退学の未然防止に取り組む。

## 4 外国人留学生の受け入れ後の対応

外国人留学生の入国管理、公的機関に関する手続き、資格外労働の管理、日本語支援等、生活全般にわたるサポートを行います。外国人留学生が安心して生活し、学業に専念できる環境を作り、自立して日本での生活ができるよう、支援します。

評価：○：概ね目標通りできた。  
グローバル教育推進センターのサポートを受け、コロナ対応、体調不良時の対応、就職、資格管理など、多岐にわたって支援ができています。秋セメスターからは日本語のサポートも開始予定である。



## <2023 年度学校関係者評価>

学校が実施した自己点検・評価結果の各項目を根拠資料とともに説明し、評価項目ごとの自己点検・評価結果の妥当性について検証すると共に、各委員から意見を聴取した。なお、自己点検・評価の評価項目と様式は、静岡県専修学校各種学校教育振興会 自己点検・評価委員会発行『自己点検・評価ガイドライン』に掲載されているものを一部改編して使用した。

### 【学校関係者評価委員会 構成員】

- ① 在学生の父母等保証人・・・市川寛和 氏、袴田幹子 氏
- ② 関連実習施設の関係者・・・社会福祉法人小羊学園 在宅支援センターぱびるす施設長 紅谷 純 氏
- ③ 高等学校関係者・・・聖隷クリストファー高校校長 上村敏正 氏
- ④ 大学関係者・・・聖隷クリストファー大学社会福祉学部長 佐藤順子 氏

### 【実施日（意見聴取日）】

2024年2月28日

### 【評価に用いた資料】

- ・ 専門学校の自己評価および学校関係者評価について
- ・ 2023年度 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 自己点検・評価報告書
- ・ 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 教育情報の公表
- ・ 2023年度 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 事業計画
- ・ 2023年度 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 履修要項
- ・ 2023年度 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 学生生活の手引き(CAMPUS LIFE)
- ・ 聖隷クリストファー大学・聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 学報2023年8月号
- ・ 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 2024年度入学案内/募集要項 1. 教育理念・目標・人材養成

1. 教育理念・目標・人材養成

評価項目	適切……4 ほぼ適切……3 やや不適切……2 不適切……1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
① 学校の理念・目的・人材養成像は定められているか	④ 3 2 1	<p>〔現状の問題点〕</p> <p>③：教育理念並びに教育目標について定期的かつ組織的に見直しが行われていない。</p> <p>④：教育理念並びに教育目標について教職員に周知されていない。</p>	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。
② 教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	④ 3 2 1	<p>〔改善のための方策〕</p> <p>③：2024年度から教育理念並びに教育目標について、毎年度1回、自己点検・評価委員会において点検・評価し、見直しの必要の有無を判断する。</p> <p>④：2024年度から教育理念並びに教育目標について、教員と管理職に対しては毎年4月の教職員会で、事務職員に対しては総務部・各センター内で周知を図る。</p>	
③ 教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	4 ③ 2 1		
④ 教育理念並びに教育目標を教職員・学生に周知しているか	4 ③ 2 1		

2. 教育活動

評価項目	適切……4 ほぼ適切……3 やや不適切……2 不適切……1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
① カリキュラムは教育目標が反映されているか	④ 3 2 1	<p>〔現状の問題点〕 問題点は特になし。</p> <p>現状の概要 2021年度より、社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則（以下、「指定規則」という）の一部改正に伴い教育課程を改定した。成績評価は、履修規程やシラバスに従って行い、全体的な視点で授業科目ごとのG P（Grade Point）も確認し、授業の点検・評価をしている。</p>	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。
② 定期的なカリキュラムの見直しが行われているか	④ 3 2 1		
③ テキストや教材は適切なものを選定しているか	④ 3 2 1		
④ シラバスが作成され学生に配布されているか	④ 3 2 1		
⑤ 授業の点検・評価が適切に実施されているか	④ 3 2 1		
⑥ 資格試験の合格率は	④ 3 2 1		
⑦ 資格試験不合格者の対策は	④ 3 2 1		
⑧ 評価は適切な方法で行われているか	④ 3 2 1		
⑨ 目標に到達しない学生に対し適切なフォローが行われているか	④ 3 2 1		
⑩ 進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	④ 3 2 1		

### 3. 学生の受け入れ

評価項目	適切……4 ほぼ適切……3 やや不適切……2 不適切……1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
① 学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切か	4 ③ 2 1	〔現状の問題点〕 2019年度以降の入学者は27名、19名、28名、22名と推移しており、2023年度も23名と入学定員40名を満たせていない。なお、入学者のうち外国人留学生は6名（前年+4名）である。2024年度は更に減少し、入学者数は10名、うち外国人留学生は3名の見通しである。入学定員充足率は25%の見通し（2024年1月現在）であり、過去の定員充足率に比べて大きく低下する。	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。
② 入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4 ③ 2 1	①②④：オープンキャンパス等募集行事の開催、ガイダンス（高校内、会場）への参加、ダイレクトメールの発送など概ね当初予定通り実施ができたものの、接触者数は以前と同程度にとどまっている。接触者を増やし、出願まで繋げていくことが課題である。	高校を卒業し直接福祉施設へ就職する者が増えているという情報がある。人手不足により施設側が高卒求人を増やしている、また高校生の就職希望が増えている、というのは今までにない大きな変化である。専門学校で専門知識と技術を学び、国家資格を取得してから就職することのメリット（給与面では初任給は同じでも等級が異なり勤続年数が増すごとに違いが出ること、資格手当があること、実践面では確かな知識と技術の裏付けが有利であり、継続就労や昇任昇格につながること）を高校側と高校生本人にうまく伝えていく必要がある。学費がハードルとなることに対しては、就職と直結し返還免除がある本校独自の奨学金があることをアピールするとよい。聖隷学園内での進学の場合の経済的支援があったらよい。聖隷関係の福祉職につく方の子女をターゲットとした広報を同窓会と連携して行うというのはどうか。なぜ福祉介護への
③ 募集要項の内容は適切か	④ 3 2 1	⑥：2019年度入試から5年間の入試結果は以下の通り。平均の入学定員充足率は59.5%である。	
④ 学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か	4 ③ 2 1	〔改善のための方策〕 新入生アンケートによると、約半数は中学生までに介護、福祉に関わる仕事に就きたい	

評価項目	適切……4 ほぼ適切……3 やや不適切……2 不適切……1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
⑤ 入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	④ 3 2 1	<p>と考へて進路を検討している。2023年10月には中学生、高校生を対象とした「介護・福祉の体験教室」を開催、中高生23名が参加した。また12月には福祉施設でのボランティアを募集し、4会場で高校生計30名が参加した。このような介護、福祉に関わる仕事について知ってもらう機会を翌年度も継続実施するとともに、これまでの参加者へのフォローを行う。</p> <p>学校の特長を今まで以上に高校生や保護者に届けるために、ホームページ、SNS、ダイレクトメールによる情報発信のほか、入学実績がある高校を中心とした訪問に注力していく。また、高校卒業後に直接福祉施設に就職するケースが見受けられるので、2年間専門学校で学ぶことのメリットを示す。</p> <p>外国人留学生獲得のため、県内の主要な日本語学校への訪問回数を増やす。近隣日本語学校や社会福祉法人との連携による留学生の母国からのリクルートについても取り組んでいく。</p>	<p>関心が低いのか、こちらの伝えたいことが伝わっていたかなど在校生へアンケートをすると、学生目線の評価から見えてくるものもあるかもしれない。</p> <p>介護系の学生募集が難しいのは全国的な傾向だが、比較的うまくいっている学校は、飛行機の直行便がある都会で留学生を9割近く集めているか、教員が「介護大好き」をアピールして低年齢から仲間を増やしているような学校である。留学生の募集を強化し、高校生へ本校の強みをアピールするとともに、小学生中学生から接触機会を増やし、介護を好きになって目指してもらえよう取り組んでいきたい。</p>
⑥ 志願者状況、定員充足率はどうか	4 3 2 ①		
⑦ 中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	④ 3 2 1		

⑤ :別表

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
志願者数(人)	29	20	29	22	23
合格者数(人)	28	20	29	22	23
入学者数(人)	27	19	28	22	23
充足率(%)	67.5	47.5	70.0	55.0	57.5

4. 教員組織

評価項目	適切……4 ほぼ適切……3 やや不適切…2 不適切……1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
① 専任教員は設置基準を満たしているか	④ 3 2 1	<p>[現状の問題点]</p> <p>②：専任教員1人あたりの担当科目時間数について、教員間での時間数の差（年間60時間）が認められた。</p> <p>[改善のための方策]</p> <p>②：担当科目時間数について教員間での一番多い教員と、一番少ない教員では年間60時間の差が認められたので、平均化することにより2024年度からは是正する。</p>	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。
② 専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	4 ③ 2 1		
③ 教職員の業務分掌は明確になっているか	④ 3 2 1		
④ 教職員の能力、業務内容の評価を定期的に行っているか	④ 3 2 1		
⑤ 教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	④ 3 2 1		
⑥ 職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	④ 3 2 1		

5. 学生支援

評価項目	適切……………4 ほぼ適切………3 やや不適切……2 不適切……………1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
① 奨学金等、経済的支援は整備されているか	④ 3 2 1	[現状の問題点] 問題点は特になし。	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。  父母等の立場からは教員の支え、面倒見のよさに感謝している。学習につまづいて退学に至ったが介護に関心はあったので施設でのアルバイトを教員から紹介し、介護職員としてゆっくり育てていただくという事例もあった。就職先として高齢者施設だけでなく障害者や子ども対象の施設があることも周知していただき、介護の幅の広さ、重要性を理解してもらいたい。
② 学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか	④ 3 2 1		
③ 各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	④ 3 2 1		
④ 防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	④ 3 2 1		
⑤ 進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	④ 3 2 1		
⑥ 新たな求人開拓の努力をしているか	④ 3 2 1		

6. 施設・設備

<p>評価項目</p>	<p>適切………4                      ほぼ適切………3                      やや不適切………2                      不適切………1</p>	<p>自己点検・評価による現状の問題点                      および改善のための方策</p>	<p>学校関係者の評価とコメント等</p>
<p>① 講義室は学習を行うのに十分な面積を有しているか</p>	<p>④ 3 2 1</p>	<p>[現状の問題点]                      問題点は特になし。</p>	<p>自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。</p>
<p>② 実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか</p>	<p>④ 3 2 1</p>		
<p>③ 実習設備は整備されているか</p>	<p>④ 3 2 1</p>		
<p>④ 講義室・実習室の管理は適切に行われているか</p>	<p>④ 3 2 1</p>		
<p>⑤ 学生が自学自習できる教室を有しているか</p>	<p>④ 3 2 1</p>		
<p>⑥ 図書室は適切に整備されているか</p>	<p>④ 3 2 1</p>		
<p>⑦ 保健室は適切に整備されているか</p>	<p>④ 3 2 1</p>		
<p>⑧ 教育用機器備品は整備されており活用されているか</p>	<p>④ 3 2 1</p>		
<p>⑨ 教員室の管理は適切に行われているか</p>	<p>④ 3 2 1</p>		
<p>⑩ 事務室の管理は適切に行われているか</p>	<p>④ 3 2 1</p>		



## 7. 管理・運営

評価項目	適切……4 ほぼ適切……3 やや不適切…2 不適切……1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
① 理事会・評議員会は適時適切に開催され、機能しているか	④ 3 2 1	<p>〔現状の問題点〕</p> <p>財務分析比率について、入学者の未充足により帰属収支差額がマイナスである。2023年5月1日現在の学生数は2022年度より4名減少する。それに伴い2023年度の収支差額も悪化する見込みである。</p> <p>〔改善のための方策〕</p> <p>学生募集力を強化し一人でも多くの入学者を確保する。具体的な施策は、「3. 学生の受け入れ」に記載のとおり。</p>	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。
② 理事会、評議員会の議事録は適切に作成、管理されているか	④ 3 2 1		
③ 就業規則などの諸規程は適切に整備されているか	④ 3 2 1		
④ 就業規則などの諸規程・学則等が定期的に見直されているか	④ 3 2 1		
⑤ 組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	④ 3 2 1		
⑥ 消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	④ 3 2 1		
⑦ 個人情報保護法を遵守しているか	④ 3 2 1		
⑧ ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	④ 3 2 1		
⑨ 財務分析比率は適切な数字になっているか	4 3 ② 1		
⑩ 学校の財務情報を公開する適切な体制が整備されているか	④ 3 2 1		

## 10. 国際連携の状況

専門学校としての国際連携活動は現在のところ実施しておりません。

## 11. その他

### ●学則

学則は以下の URL をご参照ください。

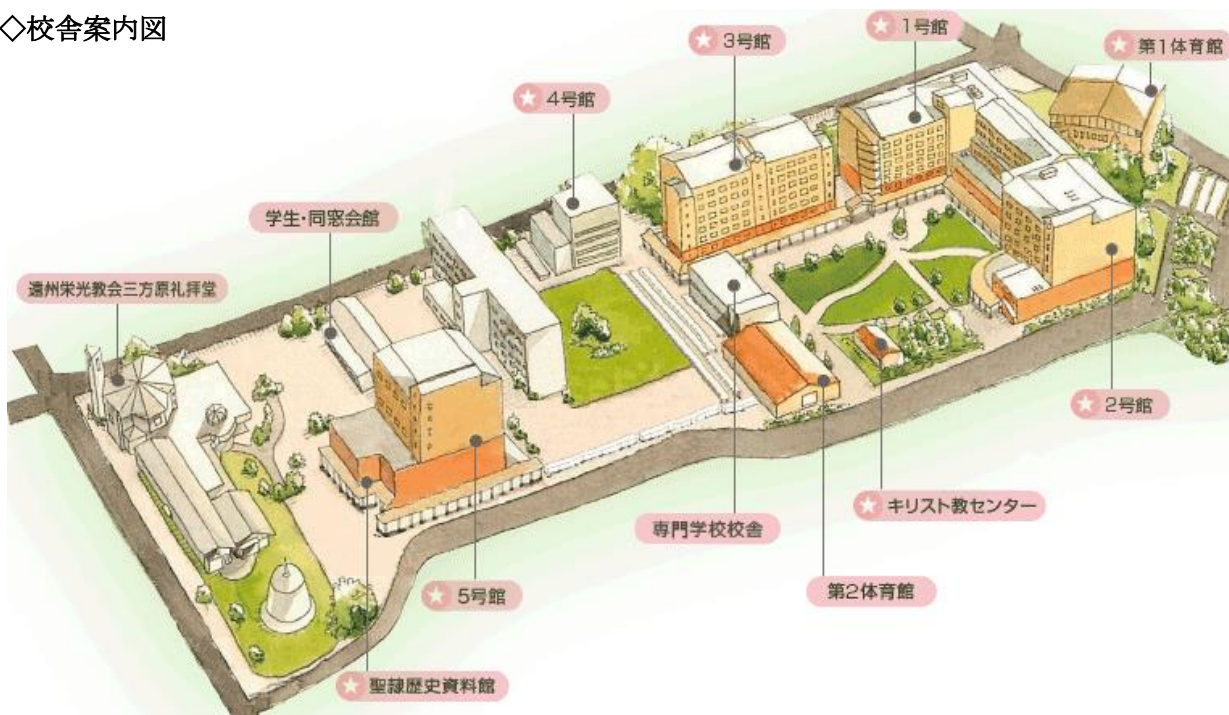
<https://www.seirei.ac.jp/carework/guide/regulations/>

### ●学校運営の状況に関するその他の情報

キャンパスは以下の通りで、**聖隷クリストファー大学の施設も利用可能です。**

キャンパスの木々の緑は目にも優しく、赤レンガとベージュの校舎にはアーチの窓や回廊が施されて明るく開放的。清潔感のある空間があふれています。学内には240席の大教室や小グループでの活動が円滑に行われるように工夫された演習室、高度な技術を学ぶためのさまざまな実習設備、自学自習や授業で利用されるコンピュータ教室、豊富な資料を備えた図書館、体育館など、利用しやすく満足できる学修環境が整っています。またランチタイムやミーティングのための学生ホールは、憩いの場としても活用できるように整備されています。学生サービスセンターや健康管理センターでは、安心して学べるよう、日常生活も含めてサポートします。

### ◇校舎案内図



>>>主な施設については下記URLをご参照ください。

<https://www.seirei.ac.jp/carework/guide/facility/#campusmap>

### 図書館

本学図書館では、教員や学生の方々のために、保健医療福祉をより幅広く、より専門的に学ぶための支援環境を整えています。なお、大学と共同利用しています。

図書冊数と閲覧室座席数 (2024年5月1日現在)

図書冊数	125,737冊
閲覧室座席数	244席

>>>詳しくは 聖隷クリストファー大学 図書館ホームページ をご覧ください。

<https://lib.seirei.ac.jp/library/>